

掴め君の未来を！

令和5年10月号

慶進中学校・高等学校
進路部
令和5年10月1日発行



共通テストまで残り約100日となりました。3年生は第一志望の大学合格にむけ、追い込みの学習に励んでいることだと思います。今月は、学校で行われる最後の模試である「ベネッセ駿台共通テスト模試」や、大学別のプレ模試など、模試を受ける回数が増えていきます。一つひとつの模試に対して、本番だという気持ちで臨み、受験後は必ず復習しましょう。

また、この時期は現役生の学力が最も伸びる時です。最後まで、自分のさらなる学力伸長を信じてがんばりましょう。1・2年生は、11月模試受験まであと1か月となりました。これまでの学習の成果を確実に発揮するために、今から模試対策を始めましょう。模試前に復習すべきことはたくさんあります。明確な得点目標を定め、1週間単位でやるべきことを定めた「学習計画表」を作成することをすすめます。



●大学入試トピックス ～国公立大学2024年度入試(現3年生が受験する入試)の変更点

(旺文社教育情報センターHPの記事を基に作成)

国公立大の24年度入試について、主な変更点の一部を紹介する(以下、新增設大学・学部等については全て予定)。なお変更点については、『掴め君の未来を！(夏休み号)』に掲載したものを除いた。24年度共通テストは1月13日・14日に本試験、27日・28日に追・再試験が行われる。追・再試験の会場は、21～23年の全都道府県への設置から、コロナ禍以前の「全国2会場(東・西日本に各1会場)」に戻る。また、各大学の対応(追試験や他日程への振り替え)もコロナ禍以前の対応(他の感染症と同等)に戻る可能性もある。以下に紹介する変更点については、国公立大の選抜要項(印刷物、あるいはホームページ)などで必ず確認してほしい。

- 入学者中の女子比率の低い理工系学部の推薦型・総合型で「女子枠」の新設が目立つ。『掴め君の未来を！(夏休み号)』で紹介した国公立大(北見工業大・東京工業大・熊本大)以外に、次の大学・学部等で新設する。山梨大-工の共テ免除推薦に女子枠を新設(14人)／金沢大-理工学域で共テを課す「女子枠特別入試」を新規実施／大分大-理工で推薦型に女子枠を新設(13人)／琉球大-工で、共テ免除総合型と共テを課す推薦型に女子枠を新設(各10人)／高知工大-データ&イノベーション学群の推薦型で女子枠を新設。
- 新增設と改組…理系学部の増設や定員増が相次ぐ(新設の名称は仮称)。公立専門職大学として、東北農林専門職大が開学予定(農林業経営の1学部2学科)。国立では、千葉大で「情報・データサイエンス学部」を開設予定。また、金沢大-観光デザイン学類で定員増(20人→55人)を行う。募集単位の「大括り化」も注目される。三重大-生物資源で「4→1学科(4コース)」に統合予定。この他、富山大-経済で「3→1学科」に統合、夜間主コースを募集停止。同-理も「5→1学科」に統合予定。
- 推薦型・総合型の導入・廃止…富山大-経済で共テを課す総合型、理で共テ課す推薦型を廃止。同-薬の共テ免除総合型で県内出身者対象の地域枠を新設／滋賀大-経済[夜]の共テ免除総合型で新方式(資格・検定型)を追加。
- 一般選抜の科目等の変更…滋賀大-経済[夜]で一般選抜を復活、前期・後期で実施する／岩手県立大-社会福祉の前・後期が、学科別募集(社会福祉、人間福祉)から学部一括募集に変更。

●学校推薦型入試の出願手順

学校推薦型入試の出願がもうすぐ始まります。学校推薦型入試は、一般選抜入試の出願方法と大きく異なりますので、注意しましょう。以下で、学校推薦型入試の出願方法について確認してください。

- 1, 各大学の受験要項は、各自で取り寄せます(総合型選抜・一般選抜も同様)。ただし、指定校推薦・姉妹校推薦の出願書類は学校で取り寄せます。
- 2, 担任に①入試連絡票 ②推薦願書 ③募集要項(出願に関するページ)のコピーを提出します。
- 3, その後、学校で調査書や推薦書を作成します。作成には時間がかかりますので、遅くとも出願したい日の2週間前には、上の①～③の書類を提出しましょう。(2週間はぎりぎりの期限です。なるべく早く提出してください。)
- 4, 入学願書などを含めた出願書類一式がそろったら、担任の点検指導を受けて出願となります(ネット出願はこの限りではありません)。出願は各自で行います。

●夢ナビライブに参加しよう(1・2年生)

「夢ナビライブ」とは、数多くの大学が参加する日本最大の大学進学オンラインイベントで、高校生の興味・関心ごとから進路研究を進めることのできる、様々なプログラムが用意されています。参加する生徒は、大学教授の講義動画を視聴したうえで、Zoomを用いて直接教授とコミュニケーションを取ることができます。また、大学説明会や入試説明会などのオンライン説明会や、大学教員が学問の魅力を紹介するオンラインガイダンスなどのプログラムがあります。今年の「夢ナビライブ in autumn」は10月21日(土)・22日(日)に実施されますが、オンラインでの参加が難しい場合は、大学教員による30分の「学問の講義ライブ」を、9/22～10/31の期間中いつでも無料で視聴できます。1つ1つの講義が大学の専門的な学問の内容ですので、1冊の本を読んで知識を得るよりも簡単に、数多くの専門的な学問探究を深めることができます。小論文・面接のための知識を得るうえでも、有用な機会です。ぜひ視聴して見てください。なお、「学問の講義ライブ」は、期間中、24時間視聴可能です。



●先輩の合格体験記 共テを課さない学校推薦型選抜で合格した先輩の体験記の一部抜粋を掲載。

筑波大学情報学群 (中高一貫コース卒業)	北九州市立大学外国語学部 (アドバンスコース卒業)	周南公立大学経済学部 (グローバルコース卒業)
【後輩へのメッセージ】 受験を通して情報処理力、努力、信じる力の3つの力が大切だと思います。筑波大学に行くことを諦めかけていた時、あらゆる情報を集めて、自分に適する受験方法を発見しました。目標が決まると後は努力です。努力は報われるかわかりませんが、努力なしでは合格することができません。そして努力してうまくいかない時は自分を信じる力が大切です。特に推薦勢は一般よりも早く進み、模試が無いなど不安要素がたくさんあります。そんな時も地に足をつけて、前に進めるかが合格の鍵です。これから3つの力を持って受験を頑張ってください。	【後輩へのメッセージ】 推薦は、普段の成績や評定が重要です。志望校決定が遅かった人も、成績が足りていれば、志望校が見つかった時に受験機会を増やすことができます。なので、定期試験や確認テストなどを大切にしてください。 【学校生活でがんばったこと】 所属していた英語スピーチ部の活動に力を入れました。他の部員は語学力の高い人ばかりで、練習も大変でしたが、先生方や友達の助けを借りて練習を重ねることで、私も大きく成長できました。語学系の学部を選んだのもこの部活動の影響が大きいです。	【後輩へのメッセージ】 早めに自分の進路を決めておくと、勉強に集中できると思います。オープンキャンパスに参加し、大学の様子が分かると、志望理由書や面接で伝えたいことが考えやすくなります。 【学校生活で頑張ったこと】 ほぼ毎日部活がありましたが、勉強と部活動の両立を頑張ってきました。また、地元大学研究会に参加し、面接練習や志望理由書の添削などをしてもらいました。熱心に指導していただいたので、頑張れました。

●文理選択に向けて(1年生)

(ベネッセマナビビジョンブック「高校生活スタート号」を基に作成)

文理選択は高校3年間の進路選択の第一歩であり、大学受験や職業選択に直接つながる重要な選択です。慶進高校では、11月に文理選択の予備調査があり、来年2月に正式に決定します。この選択によって、高校2年生からの履修科目が変わり、大学受験の際に文系型・理系型のどちらで受験するかに影響していきます。将来のことをしっかり考え、準備したうえで文理選択に臨みましょう。

(※近年、国の大学教育の方針もあり、文系・理系の両方を横断的に学べるという「文理融合」型の大学・学部が増加しています。)

【文理選択のポイント①】大学で学びたいことから考える

高校で文理、どちらかを選ぶかによって大学で学べる学問が決まってきます。そのため自分が大学で何を学びたいか、今からイメージしておく必要があります。また、就きたい職業が決まっている人は、そこから文理選択を考えてみよう。

【文理選択のポイント②】好き、得意な科目から考える

文系、理系のどちらかに悩んでいる人は、好きな科目を軸に考えるのも一つの方法です。ただし、安易に「苦手科目から逃げる」ような選択はやめた方がいいです。高校の学習内容は、大学や社会でも重要になるものばかりです。文理選択後も幅広く学習は必要です。

- 注意事項**
- ・うわさや不確かな情報をもとに決めない！正しい情報を心がけ、先生にも相談するなどし、納得のいく文理選択をしよう。
 - ・志望大学や志望学部の受験科目を調べる！受験科目が制限されている場合があるので、あらかじめ確認しましょう。

●始めよう11月模試対策(1・2年生)

11月1日(水)・2日(木)に「ベネッセ総合学力テスト・11月」が実施されます。1年生にとつての11月模試は、高校での学習成果が発揮され、7月模試からの大幅な成績上昇がみられる模試です。また、2年生にとつては、試験科目に理科と社会が加わり、実際の大学受験科目と同じ科目で行う初めての模試となります。1・2年生の両方にとって、これまでの学習成果を発揮しなければならない極めて重要な模試ですので、1か月後の模試に向けて今から対策学習を始めましょう。「進研模試デジタルサービス」を活用して、志望校を設定すると、その大学に合格した先輩が同じ模試で取っていた得点(合計点)が表示されます。その得点を「どの教科で何点取るか」に振り分けてみよう。それが自分にとっての目標得点になります！



●「大学教員による出前講義」を実施しました

進路部の地元大学研究会では、進路探究の一環として、地元大学の先生を慶進高校に招いて、各学問系統に関する講義をしていただく取り組みを、毎年実施しています。それぞれに学問系統に関する理解を深めるとともに、大学入試の小論文や面接に必要な実践的な知識や理解力を身につけることを目的としています。今年度も数多くの生徒が参加し、熱心に講義内容をメモしながら、真剣に受講していました。

- 実施した講義は以下の通りです。
- ①『看護学について』(下関市立大学)
 - ②『やさしい自動車工学』(山口東京理科大学)
 - ③『教育者の役割』(山口学芸大学)
 - ④『今後の日本の経済政策を考える』(周南公立大学)
 - ⑤『モノづくりとデザインの関係について』(山口県立大学)



10月の進学スケジュール

- 3日(火)～6日(金) 中間試験
- 8日(日) 第2回実用英語技能検定一次試験
- 10日(火)・11日(水) ベネッセ駿台記述模試(Ⅲ)
- 14日(土) 駿台全国模試(Ⅰ IIS全A希)
- 20日(金) 第2回日本漢字能力検定
- 21日(土) 夢ナビライブ(Ⅰ)
- 27日(金)・28日(土) ベネッセ駿台共通テスト模試(Ⅲ)